

# 「観光のこれから」産官学が議論

和歌山大学観光学部  
開設を記念する観光シ



和歌山大学観光学部 500人聴き入る  
開設を記念しシンポ

「観光のこれから」を考  
え、産官学が議論する。和歌山大学観光学部が16日、和歌山市内で開催された。産官学から参加したパネリストが、基調講演やパネルディスカッションで意見を述べ合った。約500人が熱心に耳を傾けた。

和歌山のPR策として柴田耕介・国土交通審議官は「京都議定書のような和歌山の名を付けた国際会議の開催」を提案。二階俊博・自民党総務会長は「知事が各国大使を招待したり、辻原登さんら眞出身の作家を活用してはどうか」、大橋建一・和歌山市長は「和歌山の良さは海と山と人。観光振興には自分たちで何かやるぞ」という心意気が大事」と話した。

来春開設の観光学部に対し佐々木隆・JT B社長は「環境に適應する力を持ち、英語ができ、精神的にタフな人材を」と期待。国際政治学者の猪口邦子衆院議員は「観光は平和の砦。21世紀の文明の本質を理解する人をつかってほしい」と述べた。同学部の卒業生について中田力・県観光連盟副会長は「県内の旅館や観光地にも送って」と注文。小田章・和歌山大学長は「一つ一つ良かっただと思われたい」と抱負を語った。【奥村隆】

詳細は来年1月に掲載します。

## 和歌山の観光のこれから

### 東急インでシンポジウム開催



和歌山大学観光学部は16日、和歌山東急インで観光シンポジウム(会長＝仁坂吉伸知事)「和歌山の観光のこ

あひさつする仁坂知事

からを考える。和歌山大学観光学部開設を記念して「を聞いた。猪口邦子衆院議員、大橋建一和歌山市長、中田力県観光連盟副会長ら、8人がパネリストとして参加。仁坂知事は、「今後どうやって観光振興を進めていく

のか、すばらしいパネリストとともにじっくり勉強していきたい」とあいさつした。

第1部の基調講演では、二階俊博衆議院議員が「観光立国のあり方」と題し、「和歌山の観光学部は県内の県立医科大学、高野山大学などと手を組み、ヘルスツーリズムや心のケアなどが観光学の参考になる」と熱弁。また、御坊市に風力発電などの仕組みが学べるエネルギーパークができて観光客が増えてき

たこと話し、「どの地域の市長も観光振興の話をしていない人がいる、実行することが大事」と結んだ。ほか、国土交通省の柴田耕介国土交通審議官、和歌山大学の小田章学長、株式会社JT Bの佐々木隆代表取締役社長の講演があった。第2部では、パネリストが「和歌山の観光のこれから」をめぐり、意見交換した。

あなたの所属を教えてください。  
和歌山駅前本店 ☎4215123